

国府地域振興会議地域特定課題協議内容等

H27・28年度

	課題(テーマ)	提案者	提案理由	協議内容等
1	空き家対策について (公共施設)	村尾委員	<p>現在、利用していない公共建物がどのくらいあるか。旧国府町総合支所庁舎等の対策が急がれる。</p> <p>旧国府町総合支所の解体処分や、旧大茅・旧成器小学校の有効活用について協議したい。</p> <p>また、旧栃本児童館は、休館になって十年経過しているが、今後の活用について協議したい。</p> <p>個人の空き家対策を進める前に、必要がなくなった公共施設の対策もすべきとの考えから提案した。</p>	<p>H28年1月22日</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧大茅・旧成器小学校は基本的に更新しないことを、旧栃本児童館は譲渡等を検討することになっているが、総合支所としては利活用を考えたいことを、旧総合支所庁舎については、解体条件付きでの売却の可能性を検討中であることを報告。
2	国府町の観光振興の一元化に向けたしくみづくり	安木委員	<ul style="list-style-type: none"> 昨年『鳥取市新市域振興ビジョン』が制定され、国府町では「観光資源・特産品を活かしたまちづくり」を第一に掲げられた。 その中で、取り組むべき事項が示され、地域と関係団体、行政が一体となった取組が必要であることが示された。 改めて、国府町の観光資源などに接してみると、やはり一体となった取組の必要性とその一貫性が重要だと強く感じた。 	<p>H28年2月16日</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域振興ビジョンの進展に向け、因幡万葉歴史館を核とした観光の仕組みづくりを考えてみたい。 ビジョンを進めていくための仕組みづくりを考えてみてはどうか。観光振興組織の一元化に向けたしくみづくりを考えたい。 グループをつくって具体的に検討してみてもどうか。 支所から観光振興に対しての方向性を示してもらいたい。 この件については、今後も話し合いたい。
3	十王峠土地の有効利用について	岸本委員	<p>国府町の奥部、雪の多い奥部、ダム奥地の過疎地、高齢者の多い山間地等々、まったく将来性が見えない地区を、県と市の共有土地を利用し、日の当たるところに整備ができないものか。</p>	<p>H28年5月25日</p> <ul style="list-style-type: none"> 平地化し、冬はスキー場、夏はキャンプ場の考え方もある。 <p>H28年7月28日(現地研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水源を維持するために現状のままでの管理もある。 今の状態をいかに活用するか考えたい。 今結論を出すことではないので、以後も話し合いたい。 <p>H28年10月25日</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地を県道改良事業に関わる残土仮置き場としてH30年度まで5,000m³の仮置き量として利用することを報告。